

令和2年 1月 7日

文部科学省情報ひろば(新庁舎2階エントランス)にてみんなの企画展示を実施

**「武器をアートに —— モザンビークにおける平和構築」**

国立民族学博物館は、文部科学省 情報ひろば(東京都千代田区霞が関3-2-2 新庁舎2階エントランス)において、企画展示「武器をアートに —— モザンビークにおける平和構築」を下記のとおり実施します。

アフリカのモザンビークでは、昭和50(1975)年の独立後平成4(1992)年まで続いた内戦の結果、戦争終結後も大量の武器が民間に残されました。この武器を農具と交換することで回収し、武装解除を進めるとともに、回収された銃器を用いてアートの作品を生み出し、平和を人びとの心に根づかせようという、TAE(Transformação de Armas em Enxadas/Transforming Arms into Plowshares)「銃を鋤に」というプロジェクトが進められ、内戦後の平和構築のモデルとして注目を集めています。

平成24(2012)年、このプロジェクトの一環として、フィエル・ドス・サントス、クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター)の二人のアーティストの手で、日本に住む人びとへのメッセージを込めて4点の作品が制作され国立民族学博物館におさめられました。

この展示では、国立民族学博物館で収集した作品を展示し、アートを通じて平和を築く営みを紹介します。

## 記

【開催期間】 令和2年1月7日(火)～ 令和2年2月10日(月)

【開館時間】 月曜日～金曜日 10時00分～18時00分(入館時間17時30分まで)

※土日祝日は休館

【展示場所】 文部科学省 情報ひろば(東京都千代田区霞が関3-2-2 新庁舎2階エントランス)

【実施機関】 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館

【テーマ】 「武器をアートに —— モザンビークにおける平和構築」

## ○実物展示

- ・《肘掛椅子》 クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター)  
マプト市(モザンビーク) 平成24(2012)年
- ・《フルートを吹く男》 フィエル・ドス・サントス  
マプト市(モザンビーク)平成24(2012)年
- ・《ギターを弾く男》 クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター)  
マプト市(モザンビーク) 平成24(2012)年

## ○映像

- ・「武器をアートに —— モザンビークにおける平和構築」(上映時間15分50秒)

## 【トークイベント】

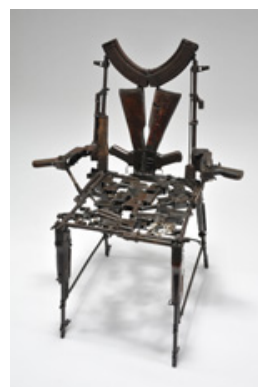
武器をアートに —— アフリカ・モザンビークにおける平和構築の営み

国立民族学博物館 館長 吉田憲司

開催日時: 令和2年1月20日(月)18時30分～19時45分

場所: 文部科学省情報ひろばラウンジ

以上



《肘掛椅子》



【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイト[www.minpaku.ac.jp/press](http://www.minpaku.ac.jp/press)